

平成 29 年度亶理町総合防災訓練にて「みんなの防災手帳」使い方講座を行いました (2017/6/11)

テーマ：みんなの防災手帳，講座，総合防災訓練
場所：鳥屋崎公会堂（宮城県亶理町）

災害科学国際研究所では，産官学のプロジェクト推進の1つとして，「生きる力」市民運動化プロジェクト活動（代表：今村文彦教授(災害リスク研究部門)，主メンバー：佐藤翔輔助教(情報管理・社会連携部門)）を展開しています。昨年7月，同活動の一環としてまた研究活動成果として開発している「みんなの防災手帳」が，24時間テレビチャリティー委員会（日本テレビ系列）の宮城県震災復興チャリティー事業として，亶理町の全世帯に配布されました。これを受けて，6月11日（日），今年度の亶理町総合防災訓練時に『「みんなの防災手帳」使い方講座』が鳥屋崎地区で開催されました。講師は，本研究所の今村文彦教授がつとめました。講演およびワークショップのサポートとして戸川直希（東北大学工学研究科博士前期課程2年），新家杏奈（東北大学工学部4年）が参加しました。「みんなの防災手帳」は，「防災家族会議」を行うためのツールです。今回の講演およびワークショップでは，家族全員は参加できなかった家庭でも自宅で「防災家族会議」を行ってもらうことを意図して企画されました。防災手帳の目的・特徴，背景，配布状況を説明した後に，参加の方々にはグループになって，模擬家族会議を開催していただきました。皆さんが真剣にそして楽しく会議に参加してくださり，多くの情報や知見を共有することができました。中には，持参した非常持ち出し袋の中身の確認や，普段使わない用具の点検などをする方もいらっしゃいました。参加層は，小学生から高齢の方まで幅広く，今回講座を行った鳥屋崎地区では約70世帯の方々にご参加いただきました。

参考 URL 「みんなの防災手帳」使い方講座を実施しました：

http://irides.tohoku.ac.jp/media/files/_u/topic/file/20160818_report.pdf



講座中の様子



質疑対応の様子

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）・戸川直希（東北大学工学研究科）